

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール札幌円山		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達の専門家として経験豊富な作業療法士が訪問支援を行っています。お子様の課題に合わせて言語聴覚士との多職種による連携支援も適宜行っています。	訪問先施設の先生方と相談の上、1人1人に合わせた必要な支援を内容、方法ともに柔軟に変え対応しています。日常生活動作、遊び、運動、社会性等あらゆる角度から、対象児の困り感を把握し、サポートに入っています。	子ども本人だけではなく、訪問先施設や家庭、他の事業所との連携、情報伝達等も行っていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	単独で訪問支援を利用されているケースについて、対象児のアクセスメントや支援方法の充実を図りたいです。また家庭との意思疎通や情報伝達の方法についても改善していきたいです。	通所と訪問支援の両方を利用されている方と同様に、訪問記録票等の紙面に加え、口頭での丁寧な説明、情報伝達や認識のすり合わせがサービスをより満足していただけることになると考えています。	電話での説明や対面での面談等、意思疎通の機会を設けることで、対象児の支援の様子や、家庭での変化についてタイムリーに情報交流を図る工夫が必要だと考えています。